

南相馬市の食の安全確保



田中 一正 議員

問 市民の食の安全確保や自給率向上のための農林水産振興プラン策定について伺う。
答 現在の状況を踏まえ、地域資源循環型の質の高い農林水産経営と、農山漁村の多面的機能の発揮を目的に策定する。
問 世界的な食糧危機、汚染米等により、食の不安は広がっている。国の自給率は39%であっても、本市の自給率は



▲楽しいも煮会

は50%と言うような施策は出せないのか伺う。
答 消費者のライフスタイルも変化して来ている。生産と消費の関係から、社会全体の中でも考え、推進する必要がある。
問 相馬野馬追祭の開催日変更について伺う。
答 週末開催となれば騎馬武者等の参加増や定着化が進

み誘客拡大はもとより市内における経済波及効果は大きいものと考えられる。
問 本市の経済活性化につながるためには、滞在型の観光を目指す必要がある。施策について伺う。
答 本市の滞在型観光は、宿泊施設不足やサービスマン不足等、今後モニタリング結果等を参考に考えて行く。

雇用促進住宅の譲り受けを



寺内 安規 議員

問 市営住宅として払い下げを受け維持管理できるのは建設年数からして鹿島区内の雇用促進住宅だけと思う。市で譲り受け、市営住宅として管理運営すべきでは。
答 本市としての対応は、新市建設計画及び市営住宅ストック総合活用計画の見直しの中で検討する。
問 地上デジタル放送への

完全移行に伴い、地形的条件により直接受信できない地域に対する対応は。
答 難視聴地域を解消するには、共同受信施設が適当と考える。施設を設置するには、地域の希望者が共聴組合を組織してから受信施設を建設し、維持管理していくことになる。希望世帯を今年度中に調査する。



▲雇用促進住宅

問 駅は街の顔であるが、鹿島駅のトイレは古く、夏場は特に臭いもひどく利用しにくい。水洗トイレにすべきでは。
答 東日本旅行鉄道株式会社水戸支社にトイレの水洗化を要望しております。駅利用者の利便性の向上と駅前市街地活性化の拠点としてのイメージアップを図るため、早期整備に向け推進していく。

子供たちの安全対策について



竹野 光雄 議員

問 今日的な社会情勢の中で、無差別的に無抵抗の子供たちが事件に巻き込まれると言うことは、大きな社会問題であります。子供たちの安全を確保する手立てが、日常的な取り組みとして求められているが、対応策について伺う。
答 子供たちを守るために、ホームページ掲載や家庭へのチラシ配布、保護者対象の講

習会を開催する等、計画して進めて行く。
問 登下校に対し、通学路の行政調査や、危険な場所の状況等、自分の地域の安全安心確保を、どのように頭に入れて置くのか。子供たち自身の意識の高揚のためにも、学校内での取り組みが必要では。
答 児童生徒の登下校における安全管理について、110番

の家や、保護者や教職員による危険箇所での安全指導、防犯ブザーの取扱いの指導、スクールガードリーダーや地域安全ボランティア、少年指導員による地域巡回、警察との連携による防犯教室等を実施し、安全確保に努めて行く。



▲子ども達の通学風景

陸上競技場の改修計画について



今村 裕 議員

問 現状と改修計画、今後の方向性について伺う。
答 現在の陸上競技場の日本陸上競技連盟の公認有効期限は平成23年8月までで、その後は全天候型の陸上競技場となれば第三種の競技場としての公認は得られない状況にある。今、全天候型トラックの整備や写真判定装置、電気時計の設置を検討している。

問 場所や財源は。
答 相双陸協や市陸協等の関係団体から、今の施設の公認期間中に第三種公認として認定を受けて欲しいとの要望が強い。財源は、電源地域振興、地域資源活性化事業補助を導入したいと考えている。
問 現在の年間利用状況と改修後の利用見込み数を伺う。

答 昨年度の利用人数は、3万2千402人だが、全天候型になれば、地域外からの利用も見込まれるので、大幅に増加すると予測している。
問 駐車場やサブトラックの整備も必要と思うが、例えば相農の農場の利活用等について県と協議したことはあるのか。
答 県教育長と協議したが、



▲陸上競技場

結論から言えば難しいとの事である。

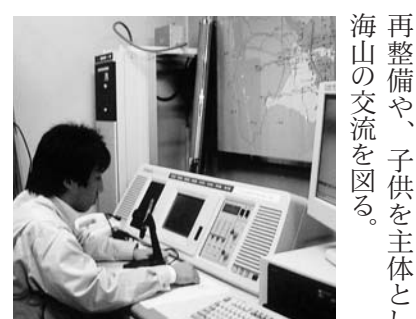
防災情報の充実について



平田 武 議員

問 3区統一した防災情報と発信のあり方。FM局の開設と道の駅の防災機能は。各種情報誌の活用について伺う。
答 各区迅速に広報するため、担当課で連携している。アナログ方式からデジタル化に向けて、本庁から3区一斉通報できる体制を検討する。FMについては、無線と関連的なのか、補完できるのかを

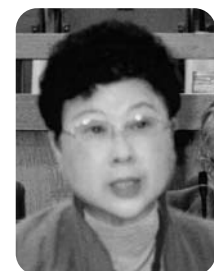
含めて検討する。広域的な緊急避難場所として地域全体で防災訓練に取り組む。県発行の情報誌を活用して行く。
問 交流事業として、二宮尊徳の歴史を生かす工夫。人材や景観の掘り起こしは。会津地方との交流を考えてはどうか。
答 新図書館に報徳仕法の特設コーナーを常設する。また、人材発掘とハートランドの



▲防災無線室

再整備や、子供を主体とした海山の交流を図る。
問 国が示す食料生産で良いのか。21年度の農業支援策。堆肥センター及び有害鳥獣の対策について伺う。
答 国県と連携の上、本市の特性に務める。協同活動や特栽米 先進的営農を支援する。堆肥センターは、21年度設計、22年度建設で計画。狩猟免許試験の周知や射撃場の設置も検討中。

子育て支援対策について



土田 美恵子 議員

問 5歳児健診の取り組みについて
答 発達障害は早期発見、早期療育の開始が重要で、5歳程度になると健診で発見することができるとは、ようやく就学時健診で発見されたのは遅いと言われております。取り組み考えがあるか伺う。
答 地道に市としても取り組んでまいりたいと思います。



▲楽しいおゆうぎ会

問 妊婦健診項目におけるヒトTリンパ球指向性ウイルスI型抗体検査の導入について。感染者は致死率が高く、成人T細胞白血病や排尿、歩行障害を引き起こす脊髄疾患の原因のウイルスです。年間約1千人が成人T細胞白血病で命を落としています。抗体検査を導入する考えがあるか伺う。
答 有効性、必要性が認めら

れた段階で対応したい。
問 エコポイントを活用した中心市街地の活性化について。地域活性化という視点も含め商店街など、地域や民間企業とも連携し、エコポイント事業を取り組むか伺う。
答 今後、地域経済と環境の両面から各関係機関と協議し活性化対策事業として導入を検討していく考えです。